

教育目標



# 進んで学び 協力し合い たくましく生きる生徒

《横越の子どもたち 目指す姿》



自ら学び，自ら考え，  
積極的に行動する生徒

**主体性**

相手の立場で考え，  
協働する生徒

**協働性**

目標に向かって  
粘り強く努力する生徒

**たくましさ**

《学校が実践すること》

■学びに向かう生徒の育成に向けて，生徒の課題解決への目的意識の醸成や自己調整学習の視点からの授業改善を推進します。

■iPadなどICT環境を活用した学習場面を増やし，生徒の特性，進度，興味・関心などに応じた指導や，協働的な学びの保障に努めます。また学級閉鎖等の非常時における「学びの保障」の体制作りを進めます。

■身近な地域・社会における諸課題について考えたり，立場の異なる様々な人からの講演を聞いたりする中で，よりよい社会を作るために何ができるのかを追究テーマとした総合的な学習の時間の展開を図ります。

■認め合い，助け合い，期待をかけ合い，高め合う温かい学級・学年・学校の風土を醸成したり，自主的な活動を促したりするために特別活動の充実を図ります。そのために，例えば，合意形成の場の設定やPDCAサイクルでの活動の振り返りなど必要な支援・指導を行います。

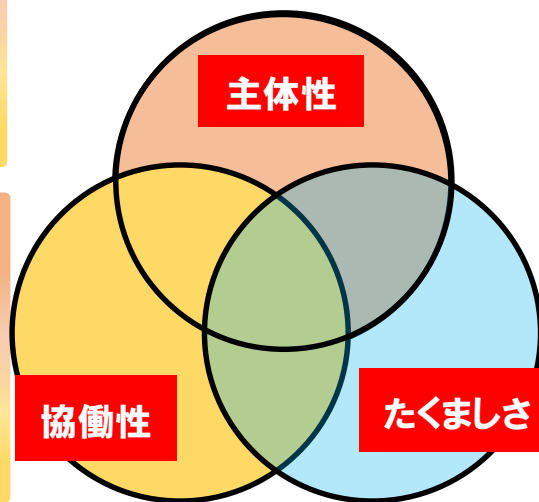
■生活アンケート（毎月）や教育相談での生徒理解や，横中ライフ等を用いた生徒と教師との積極的な関わりあいなどを通して，生徒の心身の状況を常に捉え，のびのびと学校生活が送れるようにサポートします。

■キャリアパスポート，キャリアノートなどを用いた目標設定，振り返りから，自己の成長の実感や課題の把握を促します。

■個別の支援計画，指導計画を全職員で共有すること，目標達成に対する手だての有効性を定期的に振り返ることで，特別支援教育の更なる充実を図ります。

■放課後学習スペースの開設・運営や質問教室・学習会の実施により，生徒が自ら進んで学習する空間や機会を提供し，生徒のニーズに合わせた学習サポートを行います。

■1週間を見通した5教科を中心とする家庭学習課題を提示したり，受験対策用教材などを活用したりして，家庭学習習慣の定着を促します。



■「相手の立場で考える」「誰に対しても公正・公平に関わる」などの道徳性の育成に向けて，道徳の時間のローテーション授業の実施や学びを俯瞰できる振り返りシートの導入，人権教育，同和教育の推進を学校体制で行います。

# 優希



※主体性，協働性，たくましさは互いに関連しており，明確に区別ができるものではない。

《コミュニティ・スクールとの関連》

■「社会に開かれた教育課程の実現」に向けて，学校・保護者・地域が一体となって，特色のある学校づくりを推進します。目指す姿を共有し，「これからの社会をたくましく生き抜く力」を育成するために協議を進めます。

■横越の子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を育てるために，横越小学校と連携・協働した教育活動を行います。

■地域の教育資源と学校がつながり，「地域と連携・協働した教育活動」を行います。

